

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	視察研修受け入れ		
主催	事務局	実施日	下記
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	延 144 名

他外部団体の視察研修を昨年に続き受け入れを行いました。今年度は4団体計 144 名を受け入れ。昨年より研修資料代として¥1,000/人を徴収開始しました。この費用の約半額で地域の特産品を試食・試飲して頂き地域をアピールする手法を取っています。来られた方々の多くが帰りに道の駅等に立ち寄り安心院の特産品をお土産に購入して頂いています。また、地域コミュニティ組織が集まる会合などにおいて、商品開発などを行った際には、このような形で代行販売ができる事などを告知しています。

- 6 月 25 日 : 長崎県名与町 43 名
- 11 月 14 日 : 福岡県久留米校区まちづくり協議会 46 名
- 12 月 20 日 : 大分市松岡地区 15 名
- 2 月 20 日 : 中津市耶馬溪周辺地域振興対策推進会議委員 40 名



成果	<p>深見地区の活動報告を行うとともに、質疑応答を通して受け入れた地域の情報も聞き取り、こちらの活動に活かせるような勉強も行えています。特産品を渡しても研修受け入れによる収益も出て、自己資金確保にもつながっています。</p>
----	--

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	仙の岩 法面草刈		
主催	春祭り実行委員会	実施日	2013/10/19
場所	仙の岩	参加者数	
<p>仙の岩の景観保持のため、春祭り実行委員会と深見出身の宇佐市職員が法面の草刈を実施しました。</p> <p>深見地区の玄関口として位置づけられたこの場所は、以前は、“仙の岩を守る会”が実施していましたが、メンバーの高齢化と地形の困難さから春祭り実行委員会が数年前から応援を実施し、昨年度より深見出身の宇佐市職員も同日に合同作業を行いました。</p>			
			
			
			
成果	<p>この作業で得た収益は毎年行われる“深見秋祭り”への開催資金の一部に使用されています。また、年間を通し観光客もこの地を訪れ整備された雄大な雄姿を楽しんで頂いています。</p>		

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	林道整備事業		
主催	地域づくり部会	実施日	2013/9/30～2013/10/23
場所	烏帽子線・東明治線・田代本村線	参加者数	
<p>収益活動として、林道維持管理業務“東明治線（2.7 km）・田代本村線（3.8 km）・烏帽子線一部（1.3 km）を宇佐市より受注。 地域内住民の方々に公募を行い希望者に実作業を行って頂きました。 当事業は、住民参加による水資源保全への貢献、地区住民への賃金支払いによる経済効果、さらに住宅金の一部を協議会活動の資金に組み入れるなどの成果を目指して取り組みました。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
成果	<p>昨年に引き続き行われ、多くの人に参加して頂くことができました。 又、作業完了後の仕上がりも綺麗に片付けられ地域住民からも期待以上の出来栄えとの評価を得られました。当協議会としても今後貴重な自己資金調達の事業となりました。</p>		

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	ふれあい大運動会		
主催	深見小、地域づくり部会	実施日	2013/9/22
場所	深見小学校	参加者数	

小学校の生徒数も年々減少する中、ここ深見地区は地域行事として行っていた地区民運動会を小学校と合同で数十年前より“ふれあい大運動会”として開催を行っています。

平成 20 年より当協議会もこれに加わり今年も盛大に行われました。又、恒例の餅まきとともに当協議会が行う参加賞の抽選も参加者動員の大きな手助けとなっています。



成果	運動会の準備（会場設営・餅つき等）段階から地域住民の交流があり、三世代の住民が一つの話題で盛り上がり、普段外出しない人も人と交わり自分の活躍の場所ができる事を楽しんでおられました。
----	--

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	フォトコンテスト		
主催	生活環境部会	実施日	2013/10/27
場所	旧深見中学校体育館 (秋祭り会場)	参加者数	

深見地区をもっと地域の人に知って頂き、地域の良いところを再発見してもらうために、秋祭りにおいて“深見フォトコンテスト”を開催しています。フォトコンテストも回数を重ね、深見地区内だけでなく、宇佐市各地から応募が来ています。

作品の中には 昭和初期のお葬式や昔と今の同じ場所からの写真のほか、地域のサロンや子どもたちの写真などもあり、多く来場者の目をひいていました。各賞の賞品には地元の特産品やお菓子などを差し上げ喜んでもらえました。



成果	自分の撮影した写真を人に見てもらえる機会となり、他人に評価される喜びと を感じられている方も多くおられました。また、古い写真についても、倉庫 から出てきたと写真集を持ってきてくださったりして、様々なものが集まり ました。
----	---

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	花壇整備 仙の岩		
主催	生活環境部会	実施日	2013/12/26
場所	仙の岩前	参加者数	

仙の岩前、県道 50 号線沿いの法面に、新たに設置した花壇の花の植え替えを行いました。花文字・花壇にはパンジーを植えました。また、今年は、看板設置も行い、まちづくり協議会が行っている活動であると PR しています。



成果	深見の玄関口を明るくすることができています。また、住民アンケートを行ったときに、きれいだけれど誰がやっているかわからないなどの意見があり、今回、看板を設置でき、毎日通行する道でまちづくり協議会の PR ができることは、有意義であると思います。
----	---

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	しめ縄づくり 伝統工芸伝承活動		
主催	健康福祉部会	実施日	2013/12/16,17
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	
<p>健康福祉部会主催の老人クラブによる“しめ縄づくり”も今年で4回目。年々技術も向上し、今年新しく10個限定で亀を追加し3種類のしめ縄を作成しました。飾り付けの“のし・扇子等”は数日前より講師となる小野氏が準備を行い当日講師の支持に従い飾り付けました。出来上がった作品は、予約を受けていた方々などへ販売されました。</p>			
   			
			
成果	<p>1つ1,000円で販売され、作成したしめ縄約100個が完売となりました。今年は10個限定で亀を販売し、購入者からは1,000円は安すぎる出来栄の良さとの声がありました。</p>		

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	寄せ植え講習会		
主催	生活環境部会	実施日	2013/12/15
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	

生活環境部会により、寄せ植えの講習会が実施されました。  
 この講習会は、人気も高く毎年多くの方々に参加して頂いています。今年で4回目でもあり、花の配置や苗の植え方も段々と慣れ思い思いの作品が出来上がり新年を迎える準備が出来ているようです。



成果 日頃顔を合わせない方々や初めて講習会に参加された方もおり、花を通して様々な交流が行えました。又、足(車)がなくあまり外出されない方も乗り合わせで参加し、地域の“支えあい”が行えています。



深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	生け花教室		
主催	生活環境部会	実施日	2013/10/27
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	

生活環境部会による生け花教室が、1ヶ月に1回程度行われ、秋祭りでは、作品展示をして頂き賑いに花を添え、年末には、お正月を華やかに迎えるための生け花教室が実施されました。



成果	<p>教室開催ごとに500円の参加費を徴収し、自己資金確保にもつながっています。また、通常の活動の他、協議会開催のイベント時や外部からの来訪者があるときなど積極的に生け花で来訪者の“おもてなし”をして頂き、深見への高感度を上げて頂いています。</p>
----	---

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	節分神楽		
主催	地域づくり部会	実施日	2014/2/2
場所	宇佐地域交流ステーション	参加者数	

節分にあわせて、安心院神楽が行われました。安心院神楽はメンバーが20代と若く仕事を持っているために、練習はしているものの披露する場があまりありません。そこで、彼らが披露する場を設けようと、節分イベントを開催しました。

鬼に節分豆をぶつける機会ないので、参加された方も安心院神楽の方も楽しんでおられました。



成果	<p>若い世代の活動を応援することを通して、地域活動に若い世代が加わってくれるようになってきました。また、チラシを全戸配布したことで、普段まちづくり協議会の活動に参加されないような方々も多く参加してくださいました。</p> <p>また、しるばと保育園より節分豆まきで使用する鬼のパネルを持ってきてくださり、会場の雰囲気を盛り上げてくれました。</p>
----	---

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	花見神楽		
主催	地域づくり部会	実施日	2014/4/6
場所	仙の岩 公園	参加者数	
<p>新しい取り組みとして、仙の岩において、安心院神楽が行われました。                  安心院神楽はメンバーが20代と若く仕事を持っているために、練習はしているものの披露する場があまりありません。そこで、彼らが披露する場を設け、なおかつ地域の皆様にも周知し楽しんでいただきたいと開催しました。</p>			
     			
成果	<p>当日は雨も降らず天候に恵まれ、雄大な景色の中で神楽を舞いました。安心院から湯布院に抜ける道の途中にある仙の岩公園で行ったので、県外のドライバーも足を止め神楽を楽しんで行かれていました。観光客をよべるイベントにつながっていく要素もっていることが分かりました。</p>		

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	七夕葡萄プロジェクト		
主催	教育文化部会	実施日	2013/9/9～11
場所	中山ブドウ園、多賀城市	参加者数	

東日本大震災以降、被災地支援として宮城県多賀城市へ安心院のブドウを届ける活動を行っています。

災害後、街は綺麗になっても精神面での復興は簡単ではなく、安心院のブドウを食べて元気になってもらおうと活動を進めています。

また、協議会の活動を通じて、多賀城市の八幡保育所と深見のしろぼと保育園同士の交流が続いています。



成果	保育園同士の交流が今も続いており、ビデオレターや手紙のやり取りを続けています。被災地を支援するというだけでなく、安心院の子どもたちにとっても、よその町に友達ができ、交流を続けることで視野を広げることができていると思います。
----	---

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	平山市道清掃活動		
主催	生活環境部会、大分大学	実施日	2013/11/16
場所	平山市道	参加者数	

地域をきれいに保ち、魅力ある深見地区にしていこうということで、清掃活動を行いました。当日は、大分大学生の協力も得て、地元住民も含め多数の参加者が来てくれました。



成果	大分大学生を含め、多くの方が深見地区を訪れるようになり、住民から徐々にゴミの不法投棄が気になるので清掃活動をしたという声が上がってってきました。今後も、継続して活動を進め、多くの住民の意識改革を行っていききたいと思います。
----	---

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	正月用の玄関花飾り		
主催	有志	実施日	2013/12/28
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	

お正月を前に、交流ステーションにおいてもお正月を迎える準備を行おうと、大分大学生などの協力を得て天井までつながる花飾りを設置しました。



成果	女性記者の方が大分合同にこのお正月用花飾りの記事を掲載して下さったことで、釜ノ口より作品を見に来られました。初めてこの施設に来たという方もおられ、交流ステーションに足を運ばれるきっかけになられていました。また、その後、かたるカフェにおいてサロンを実施されて帰られました。
----	---

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	耕作放棄地解消放牧モデル事業、現地草刈り		
主催	宇佐市	実施日	2013/6/8・9、10/19・20
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	
<p>宇佐市の主催により、耕作放棄地を活用した牛の放牧の取り組みが行われました。当日は、大分大学生の他、市内中学生や、一般参加者などが活動を行いました。また、電柵回りに草が生えると電柵の能力が十分に発揮されないため、10月半ばには適宜必要な個所の草刈りを行いました。</p>			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>			
成果	<p>耕作放棄地の活用ができ、牛や人間が維持管理することで雑草が育たず見通しが良くなり、地域の雰囲気が良くなったので来年もぜひやってほしいという声がありました。また、宇佐市がWEBサイトで募集しており、一般参加の方もおられ、深見地区が楽しい町だとPRすることができました。</p>		

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	秋祭り		
主催	春まつり実行委員会	実施日	2013/10/27
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	
<p>秋祭りでは、地域住民や県内大学の活動披露が行われており、今回は、地域の高齢者から見るだけではなく、コーラスとして出演したいという応募があったほか、安心院高校演劇部による劇の披露がありました。</p>			
     			
成果	<p>今までは、参加する側だった人から舞台に立ちたいという応募があったことは、地域が元気になる要素だと思います。また、普段、地域活動に出ないような方も、秋祭りの為ならと多くの方が加勢してくれ、毎年秋祭りを楽しみにしているという声も多くあります。</p>		



深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

演題	まちづくり協議会活性化戦略 ー組織運営とコミュニティ・ビジネスを中心にー		
講師名	明治大学農学部教授 小田切徳美 氏		
主催	深見地区まちづくり協議会	実施日	2013/10/11
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	68 名
<p>日本各地を研究された専門的な視点や事例紹介から、地域づくりやひとづくりの方法、まちづくりに欠かせない三要素（主役作り、舞台作り、シナリオ作り）を示し、三要素に付加価値をつける交流について説明があったのち、コミュニティ・ビジネスの講義がありました。</p> <p>コミュニティ・ビジネスでは、田植えを事例に資源保全（水路の掃除や草刈りなど）活動などの基盤を作ったうえでの資源活用（田植え）の重要性と、販売していくための資源磨き（付加価値・物語付け）や、イベントでの商品販売などの小さな成功体験（小さな経済）の積み重ねからの若者定住などへの発展（中くらの経済）と、それサポートする存在の重要性などの説明がありました。</p> <p>質疑応答では、地域の活動が発展し社会福祉協議会による支援へと変化していった広島県川根振興協議会の事例や、新潟県中越地震から復興の事例を参考に、マイナスの状態からいきなり高いレベルを目指すのは難しく、無理をすると途中で必ず大きく下がってしまうので、徐々に足場を固め体力をつけてから理想の形を目指すことが大切などのお話がありました。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
成果	<p>各地の先進事例や、ビジネスを身近な農作業に例えて、基盤作りや付加価値の大切さなど理解しやすく、小さな成功体験が人材を育て、いつか大きく跳ね上がる時がくるという点で、できる事を重ねる大切さ学び、それを支える地域おこし協力隊や大分大学の学生などの力が重要で、地元の若い世代との中和剤として、人と人をつなげていく役割を大いに担っていかねばならないと外部からの支援者も活動支援について考えなおす講義になったと思います。</p>		

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

演題	創造的過疎への挑戦 ーヒトノミクスから考える地域の未来ー		
講師名	特定非営利活動法人グリーンバレー理事長 大南信也氏		
主催	深見地区まちづくり協議会	実施日	2013/11/8
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	61 名

根気強い長期的な仕掛けによる地域力向上で、変わっていく行政や地域の意識など、先進的な事例報告がありました。様々な活動は、先進事例を取り入れるだけでなく、活動をする中で必要性が生まれ展開しており、踏み出した結果が現在にあるという。

《グリーンバレーの活動事例》

創造的過疎	過疎を数字だけで議論するのではなく、人口構成、人口構造、働く人の職種などの内容を解析して過疎を考えようという造語。
アドプト・プログラム	市民と行政が共同で進める清掃活動をベースとした美化活動。 (宇佐市のフラワーロードのようなもの。)
アーティスト・イン・レジデンス	国内外の芸術家に空き家を活用したアトリエを提供して活動を支援する事業
逆指名の移住支援とワーク・イン・レジデンス	移住希望者に面接を行ってビジョンをききだし、地域にとって必要な人材（パン屋や子育て世代等）に移住してもらう取り組み。
サテライト・オフィス	仕事をもった人に移住してもらう仕組み。 (起業者や企業の支店など)



成果	<p>逆指名での移住支援は、具体的に町の将来像を考え、その目標に合う人を面接で住民自らが選び、移住者にも地域にも良好な関係を築くことができるいい取り組みであると感じました。</p> <p>また様々な仕掛けをされ、小さな成功体験の共有が大事だという反面、同じことの繰り返しでは何も生まれないというお話もあったので、参加者を次に巻き込んでいく展開のある仕掛けをしていかなければならないと感じました。</p>
----	---

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

演題	小水力発電を地域づくりに活かそう！		
講師名	株式会社リバー・ヴィレッジ 村川友美 氏 (サポート講師) NPO 活動法人 南畑ダム貯水する会理事長 山下輝和 氏 宮崎県五ヶ瀬町 自然エネルギー研究所 石井勇 氏		
主催	深見地区まちづくり協議会	実施日	2014/3/4
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	25 名
<p>再生可能エネルギーである「水」に着目した九州大学の研究グループが中心になり、宮崎県五ヶ瀬町で行っている小水力発電を軸にした地域の問題解決に向けた研究や活動の報告がありました。</p> <p>発電システムや建屋など住民で手作りできるものは設置することで、住民がつながるきっかけとなり、自家消費モデルでは、発電したエネルギーを外灯などに活用し、売電モデルでは、収益を地域ニーズ解決の為に活用することで、住民の目に見える成果が得られ、様々な勉強会なども行われている様です。</p> <p>活動の目的は、発電をきっかけに地域の価値が上がり移住者を増やす事で、今後の展開は発電を軸に、皆が集まれる浴場、助産施設、林業や観光、商業、宿泊をまきこんだシステムを作っていく事。</p> <p>《グループワーク（小水力見分け）》</p> <p>九州大学研究室の学生が編み出した手法で、地図上で水源がどこにあって、何に使われているのか、周囲の地質、集水面積を見ながら、水力発電が出来るような場所を、卓上で検討をすること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① どこで？（水源のポテンシャル（何kw程発電できるか）を見る）</li> <li>② 何に？（発電した電力を何に使うかを検討）</li> <li>③ 誰が？</li> </ol>			
  			
成果	<p>小水力発電を軸に住民の声を聞きとり、目標を立てて活動を進めている点は、真似るべき重要な点だと感じました。発電機器の設置は技術を持った住民が行うことで人が交わり、売電利益は地域ニーズを満たすために活用されることで地域の魅力を上げ、移住者を増やそうという取り組みは理想の形だと思います。グループワークでは、熱が冷めないうちに自分たちの地域のこととして考え、他地区と比較・情報収集する中で、資源を再確認できたことは大きな収穫であったと思います。</p> <p>また、研修をきっかけに、津房地区において、県の職員による小水力発電に向けた現地調査が行われました。今後検討しながら、地域づくりに活かしていければと思います。</p>		

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

演題	はじめよう！コミュニティビジネス		
講師名	シゴトラボ合同会社 桑原静 氏	実施日	2014/3/13
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	17 名
<p>シゴトラボ合同会社の企業理念、起業までの経緯、起業してから今の状況に至るまでの苦労話や活動の成果、コミュニティビジネスの手法や事例紹介、共同開発やメディア活用の必要性、価格設定や販路確保など、前職のコミュニティビジネス推進協議会事務局長の視点も交えながら講演がありました。</p> <p>グループワークでは、地域の魅力探しをした後に、その魅力をどのようにしてイベントや起業する要素にするか企画を考える作業を行いました。発表の際には、参加者のアイデアに対する評価やアドバイスなどもありました。</p> <p>《最後に活動を始める場合のアドバイス》</p> <p>活動を続けていくには、企画書（将来やりたいこと、地域の資源、それに向けて今やらなければならないことなど）を作成して書面で人に伝えていく事が大切で、人モノ金がないときは、私欲のためでなく地域のための活動であることを伝えサポーターを集め、人のつながりで活動を行う事が重要。</p>			
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;">     </div>			
成果	<p>実際に起業した方なので、具体的な苦労話や活動の成果も聞くことができ、起業する大変さを学びつつも、グループワークの参加者の表情を見ると、仲間と意見を出し合うことで方向性を見定め、未来を考え、実際に何かを始める意欲を高める研修であったと思います。グループワークは、企画書を作製するきっかけの作業となり、ほかの地域の企画を参考にしながら地域連携の糸口も見えた様子でした。また、発表の際には、前職のコミュニティビジネス推進協議会事務局長の視点で、各地域が立てた案などに対するアドバイスなども非常に参考になり、今回の研修をきっかけにイベント復活の意欲が強まった地域などもあったことは、大きな成果であったと思います。</p>		

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	フットパス体験会		
主催	大分大学、 深見地区まちづくり協議会	実施日	2014/2/23
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	
<p>講師に美里フットパス協会の濱田孝正氏と井澤るり子氏をお迎えし、午前中はフットパスとはどういうものか、フットパスを行ったことで、美里町にどのような効果があったのかなどの講演がありました。</p> <p>午後からは、実際に大分大学の寺村淳氏が設定した深見のフットパスルート歩き、フットパス体験会が行われました。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> 			
成果	<p>フットパスを通じて、県内外から多くの方が参加してくださいました。新聞にも掲載され、問い合わせも多く、歩くことに関心の高い人が多いことが分かりました。ただ、多くの方が来たものの、お土産など途中で立ち寄れる場所がルートになかったために、お金があじむに落ちたかどうかはわからないので、次回からはグリーンツーリズムとも絡め、来た人は楽しく、地域にお金が落ちる仕組みを作っていく必要があると感じました。</p>		

深見地区まちづくり協議会 平成 25 年度事業実績

事業名	県議会議員（総務企画委員会）県内所轄事務調査（現地視察）		
主催	事務局	実施日	2013/5/24
場所	宇佐市地域交流ステーション	参加者数	
<p>県議会議員（総務企画委員）が大分大学と深見地区まちづくり協議会の活動の視察に来られました。</p> <p>今後、県議会議員として地域支援がどのようにできるのか、地域としてどのようなことを支援してほしいのかの聞き取りをおこなった。</p> <p>今後、県議会としてまちづくり協議会の活動を支援してくださると話をしていました。</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
			
成果	<p>深見地区まちづくり協議会の活動を理解していただいた。今後の取り組みについても、要望があれば相談に乗っていただけるという心強い支援をいただいた。</p>		